



# AMX-82 二重織のソファカバー

デザイナー / 岡本啓子 製作 / 小田香苗

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉リラ40

●使用糸

使用糸 〈リッチモア手あみ糸〉	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
シニョーリア	No.1	㊸(ホワイト系)	2.8玉
	No.7	㊹(ブラウン系)	1.6玉
	No.5	㊺(オレンジ系)	1.3玉
ムラレス	No.4	㊻(薄グレー系)	1.8玉
	No.6	㊼(こげ茶系)	1.2玉

●使用ヘドル…30羽が2枚 (60本/10cm)

●用意するもの…ピックアップ用のシャトル (長さ46cm) 2本

●ヨコ糸密度…37段/10cm

●織り上がり寸法…長さ138cm、幅75cm(フサの長さ含まず)

●作り方

❶タテ糸を配色どおり張る。

タテ糸の本数…㊸120本、㊹60本、㊺52本 (合計232本)

ヘドル通し幅…38.6cm

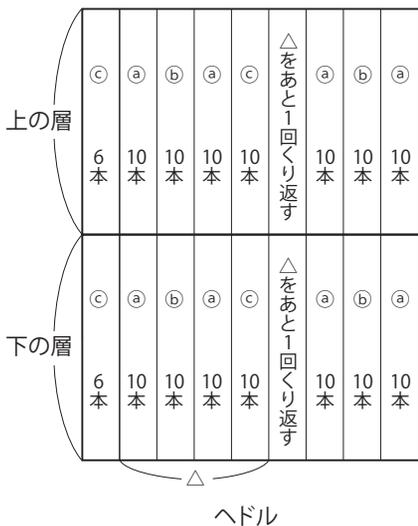
タテ糸の長さ…192cm

①まずヘドル㊸にタテ糸を通す。

②バックローラーにタテ糸を巻きとる。

③図❸のようにヘドル㊸の手前にヘドル㊹を置き、タテ糸を通す。

## 〈タテ糸配色〉



表記の寸法は織り上がり寸法です。

織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。

織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。

織るときは縮み分を考慮し、

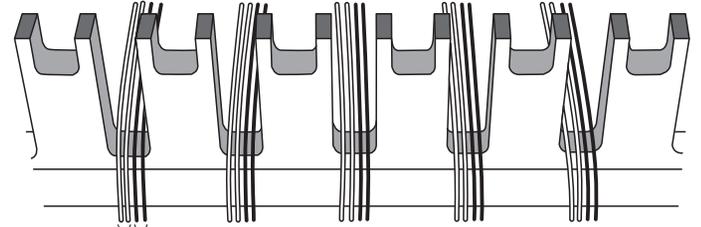
打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。

※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

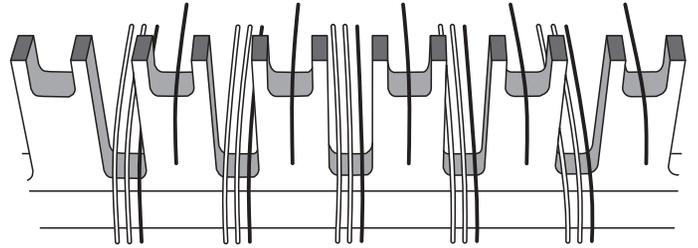
## 〈ヘドル㊸の通し方〉

❶タテ糸配色の上下層の糸を引き揃えてヘドルのすき間に2回 (合計4本) ずつ通す。

通し終えたらバックローラーにタテ糸を巻き取る。

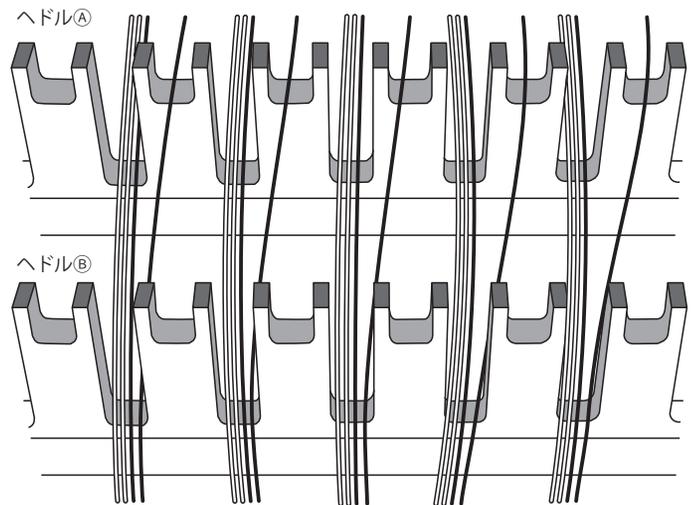


❷すき間に通った4本のうち、下の層の糸1本を右隣の穴に移す。

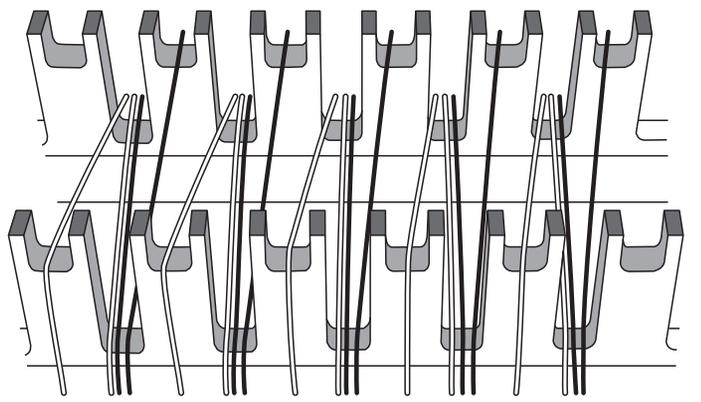


## 〈ヘドル㊹の通し方〉

❸ヘドル㊸の手前側にヘドル㊹を置く。❶ですき間に通した4本をまとめてヘドル㊹のすき間に通す。



❹すき間に通った4本のうち、上の層の糸1本を左隣の穴へ移す。

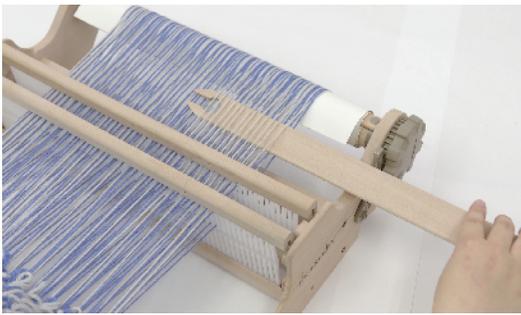


⑤ たて糸の端をフロントスティックに結び終えたら、写真を参照し、ヘドルの後ろ側にピックアップスティックAとピックアップスティックBを通す。

〈ピックアップスティックの通し方〉

※写真は分かりやすくするため上の層と下の層で糸の色を変えています。

① 両方のヘドルをダウンポジションに置き、ヘドルの後ろ側で上になっている下の層の糸を全てピックアップし、シャトルを通す。(ピックアップスティックA)



ピックアップスティックA

② 両方のヘドルをアップポジションに置き、ピックアップスティックAを後ろ側へずらし、そうしてできた下の糸の間にシャトルを通す(ピックアップスティックB)。ピックアップスティックA・Bは両方ともバックローラーの方へ寄せておく。



ピックアップスティックA

ピックアップスティックB

② ヨコ糸を配色どおり織る。  
よこ糸のシャトルは右側から入れる。  
※織るときは手前側のヘドルを手前に引き寄せる。

〈ヘドルの動かし方〉

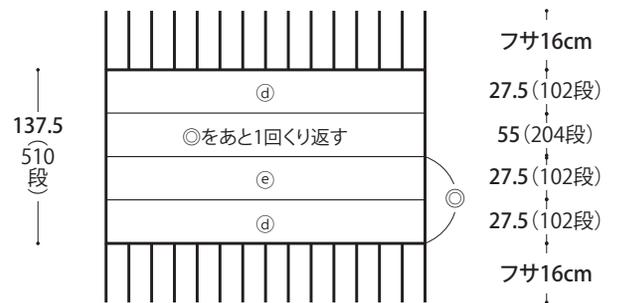
- ① ヘドル(A)：レストポジション  
ヘドル(B)：レストポジション  
ピックアップスティックAを手前にずらして立て、1段織る。ピックアップスティックAを元の位置に戻す。
- ② ヘドル(A)：レストポジション  
ヘドル(B)：レストポジション  
ピックアップスティックBを手前にずらして立て、1段織る。ピックアップスティックBを元の位置に戻す。
- ③ ヘドル(A)：ダウンポジション  
ヘドル(B)：レストポジション  
1段織る。
- ④ ヘドル(A)：レストポジション  
ヘドル(B)：アップポジション  
1段織る。

①～④の動きをくり返す

※下の層で糸を引っかけないように注意する。

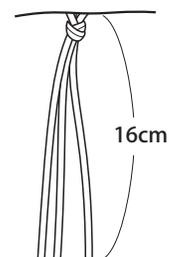
向かって右端は2枚に分かれ、左端はつながった状態(輪)になる。

〈ヨコ糸配色〉



③ フサは◎、◎、◎それぞれ色ごとに3本～4本1組で巻き結びし、16cm丈に切り揃える。

〈巻き結び〉



④ 仕上げにスチームアイロンをあてる。